

# 高道

## 6月は心の絆を深める月間です

子どもたちの生活の実態を把握するとともに、課題を見つけその解消に努めます。また、子どもたちには、自分の生活を振り返らせながら、いじめに気づくと共に、いじめを許さない、いじめをなくそうとする態度を育てます。

家庭・地域で一体となって取り組んでいきましょう。

本校では、以下のような取組を行っています。

### ○6月1日 全校集会での校長の話 ※こんなことを話しました。

皆さん元気ですか。今日も元気な声が聞こえてきました。校長先生は、みんなの元気な声を聞くととってもうれしくなります。元気になります。でも、たまに、「死ね」とか言っているのを聞いたり、書いてあるのを見たりすることがあります。その時は、嫌な気持ちになります。悲しくなります。校長先生も、子供の頃、人に「死ね」とか言っていたことを思い出します。でも、お父さんが亡くなったり、友達が亡くなったりすると、絶対「死ね」なんか言ったり、思ったりもしなくなりました。死んでしまったら、会いたくても会えないんです。何もなくなるんです。

ただ、そんなことを言っている人のことも心配です。きっと、その人も辛いことがあるのでしょう。何とかしてあげたいと思います。

みなさんは「しあわせ」という漢字を知っていますか？「幸」と書きますね。この字に似ている字がありますが、それも知っていますか？それは「つらい」という字です。「辛」と書きます。どうでしょうか。2つを比べてみると、とてもよく似ていませんか。「辛」という字にちょっとつけるだけで「幸」という字になります。辛いことはもう少しで幸せになることだと考えることもできますね。

実は、皆さんのよく知っている植物にも、これと似た話があるんですよ。皆さんは「四つ葉のクローバー」を知っていますよね。クローバーの葉は普通は3枚ですが、ときどき葉が4枚のクローバーが見つかります。とても珍しいので、見つかるとうれしいですね。四つ葉のクローバーはラッキーアイテムです。

ところで、なかなか見つからない四つ葉のクローバーが、他のところよりも見つけやすい場所があるそうです。それは、人がたくさん通ったり車が通ったりして、クローバーが踏まれたり折られたりしやすい場所だそうです。

どうしてそういうところで四つ葉のクローバーがたくさん見つかるのでしょうか？

クローバーの葉は、小さい赤ちゃんの葉がだんだん大きくなってできるそうですが、小さい赤ちゃんの葉のうちに踏まれたり傷つけられたりすると、2つに分かれてしまうことがあるのだそうです。そうすると、クローバーはその傷を治そうとして、たくさんの栄養を出すのだそうです。そのたくさんの栄養で、踏まれて2つに分かれてしまった赤ちゃんの葉が、それぞれ大きな葉に育つのだそうです。こうして四つ葉のクローバーになります。

ラッキーアイテムの四つ葉のクローバーの元は、だれかに踏まれてできた傷だったのですよね。その傷を治そうとする力で、四つ葉のクローバーができるのですね。

皆さんが、友達とけんかをして落ち込んでいたり、お父さんお母さんや先生に叱られて元気をなくしていたり、気になることを言われて悩んだりすることは、クローバーの赤ちゃんの葉が誰かに踏まれて傷ついたのと同じだと考えてみてはどうでしょうか。

傷ついたクローバーが、その傷を治そうとする力で四つ葉のクローバーをつくるように、皆さんが今、落ち込んだり、元気をなくしたり、悩んだりしていることを乗り越えていくと、そこに新しい幸せが待っているのではないかと先生は思います。

もしも今、皆さんが元気をなくしていたら、この四つ葉のクローバーの話を出して、それを乗り越えていく勇気をもってください。そして、すてきな四つ葉のクローバーになってください。



### ○タマにゃんチェックと教育相談

毎月月末にタマにゃんチェックを行っていますが、6月は5月のタマにゃんチェックを活用して、14日(火)～17日(金)の業間の時間に教育相談を行いました。

### ○心のポストの設置

いじめ・不登校防止のため、今年度も心のポストを設置しています。子どもたちが、相談したい先生を選択して投函します。

### ○人権標語、ポスターづくり

「家庭でつくろう人権標語」「人権啓発ポスター」づくりに取り組んでいます。

人権標語には、ご家庭でも取り組んでいただきありがとうございました。これらの作品づくりに取り組むことで、人権意識が高まっていくことを願います。

### ○子どもの人権 SOS ミニレター

熊本地方法務局・熊本県人権擁護委員連合会からのリーフレットを配布しています。

